



バンコク便り



1. はじめに

タイ国内の新型コロナウイルス新規感染者数は8月中旬のピーク時に比べ大幅に減少しており、バンコクでは1日1,000人を下回る日が続くなど、状況は確実に改善しています。10月16日から夜間外出禁止措置の緩和を受けて、ショッピングセンター、飲食店などの営業時間が延長されています。加えて11月からは一部地域での夜間外出禁止令解除も発表され、経済活動活発化への期待が高まっています。

2. 当地ビジネス情報（観光再開！隔離免除でのタイ入国）

タイ外務省は11月1日から日本を含む46ヶ国・地域を対象に検疫隔離なしでの入国を認めると発表しました。当初報道では、対象は10ヶ国程度で日本が含まれるかは不明とのことでしたが、間もなく乾季に入ることや年末年始などの観光ピークシーズンが控えていることから対象国が大幅に増加しました。日本が含まれたことで、タイ在住日本人の間でも早速帰国を検討している人もいます。

詳細は在タイ日本国大使館 HP(https://www.th.emb-japan.go.jp/itpr_ja/news_20211023.html)などでも確認できます。タイへの入国には右記の条件をクリアする必要や、日本での自主隔離期間が残りますが、観光再開に向けた大きな前進です。

カシコン銀行グループのカシコンリサーチセンターでは今回の入国緩和について、不振が続く旅行関連ビジネスにとって恩恵となるものの、外国人観光客がタイを訪れても、帰国後の強制隔離については未だ各国の方針にばらつきがある。観光客数は、11月から12月はゆるやかな増加に留まり、12月下旬頃より大幅増に転じる、と予想しています。

11/1からの隔離免除のタイ入国条件及び手続き（空路による入国）

| | | |
|----------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 対象国・地域 | 46ヶ国・地域 (日本含む) | 対象国・地域に21日以上滞在 タイ在住外国人は上記適用外 |
| 隔離措置 | 検疫隔離なし | タイ到着時のPCR検査の結果が 出るまで指定ホテルで1泊 |
| ワクチン接種 | タイ政府またはWHO承認済みの ワクチン接種を渡航14日前に完了 | 英文の接種証明書を所持 |
| 入国後の宿泊先 | タイ政府指定ホテルを1泊分予約 | 支払い確認書が必要 |
| 医療保険 | 滞在期間を全てカバーする新型コロナ に関する治療費を含む保険加入 | 最低5万米ドル |
| 入国前PCR検査 | 渡航前72時間以内に受けた PCR検査の英文陰性証明書を所持 | 罹患歴がある場合は、完治から3ヶ月 以内であることの証明書が必要 |
| 入国後PCR検査 | タイ到着時に1回受ける | ホテル代に含まれ渡航者負担 |

3. 現地トピックス（コロナ禍の海外渡航）

羽田空港で日本政府が海外在留邦人等を対象に実施した2回のワクチン接種を終え、過日、再びタイへ戻って参りました。約2年ぶりに日本の空気を味わい、コロナ禍の海外渡航という貴重な経験ができました。今回の滞在で特に印象に残ったのは、東京でも山形でも、制限はありながら外出できる環境だったということです。ロックダウン（都市封鎖）されているバンコクとの違いを強く感じました。

タイ入国に必要な申請は煩雑でしたが、必要書類さえ揃っていれば手続きはスムーズで、バンコク行きフライトの搭乗者は30人程でした。

スワンナプーム国際空港に到着してからは、係員に先導され入国書類の確認、検温などの体調チェックや入国審査を終え、到着から約1時間後には空港の外にいました。その後専用車で隔離ホテルへ向かい、隔離スタートとなります。

今回はまだ渡航者が少なく短時間で入国手続きが終わりましたが、上記ビジネス情報の通り、今後は渡航者の増加に伴い入国までの時間も長くなる可能性があります。現時点（10月29日）ではワクチン接種済みでも最短7日間の強制隔離が必要ですが、このままコロナが落ち着き、今回が最後の隔離となることを切に願っております。



入国時の様子

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・軽部・高橋 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）